

2020 年度活動方針

2019 年末から始まった新型コロナウイルス感染症による大災害は新年度に入ってもトンネルの出口が見えません。杉並三田会の皆さん、関係者も含めてどうお過ごしでしょうか。個人レベルでは出来ることも限られていますが、正しく恐れて、でも恐れ過ぎずに感染症に対応する基本を守っていきましょう。

杉並三田会は塾員を会員とする「交流・親睦をはかる」ことを目的とする集合体です。杉並三田会を運営するに当たっては「交流・親睦をはかる」場＝プラットフォームを如何に整備するかがキーになると考えています。プラットフォーム上では我々会員が今後の人生を楽しむために数々の活動を行うことになります。この「会員の交流と親睦をはかる」ためのツールの提供・拡充に注力していきます。

重点項目

1) 新入会員勧誘活動とその新入会員の定着をはかる

杉並三田会の継続・発展のためには切れ目のない会員加入とその会員が活動を楽しんでもらえる環境作りが大事です。効率の良い勧誘だけでなく、加入後の新入会員に対しても分科会参加等フォローアップしていきます。

2) 広報活動の充実

会員の活動を共有できることと、杉並三田会に所属している満足感を与えられる会報の価値は高いと思います。ホームページは情報の共有化だけでなく、新入会員に対して活動の道標に成り得ます。このたびの新型コロナウイルス感染症による大規模災害時にホームページは情報伝達、情報共有に非常に役立つと認識しています。この即時性の高さを活かせるようにしていきます。会報とホームページで役割を補完しながら過去から未来に向かう活動のアーカイブの役割を担うことを目指していきます。

3) 分科会活動促進

杉並三田会の大きな魅力の分科会がより一層活動しやすいように、世話人の方々の負担軽減も図りながら情報提供などの諸施策を推進していきます。

さらに会員の新しい需要に応じられる分科会の設立も応援していきます。

4) 会員交流の場の提供や地域貢献の継続

総会開催時の懇親会、忘年懇親会や分科会でカバーしていない分野の行事（医事講演会、救命講習会など）を企画・開催し、会員交流の場を提供します。また、杉並区内でできる貢献活動を積極的に模索し、実行していきます。

5) 事務局業務の合理化

昨年度検討された「会員誰でもが、気軽に引き受けやすい・参画しやすい業務内容」を実現する年にしたい。担当している事務局担当会員が苦勞している会員データ管理や事務書類のハンドリングなどについて改善を図り、安心して次世代に引き継げる事務局作りを目指します。